

中学道徳『生きる力』3年 年間指導計画例

	資料名	主題のねらい	学習活動（主な発問）
4 月	1 人はだれでも、幸福の種を持っている	自らの可能性を信じ、自律の精神をもって主体的に自己の人生を切り拓こうとする意欲を育てる。 (1－(3) 自主・自律)	(1) 「人間として生きる」とは、どのようなことか考える。 (2) 資料『人はだれでも、幸福の種を持っている』を読んで話し合う。 ①「現代は、逃げることを許す社会」とは、どのような意味だろう。 ②「生きることは取り替えっこ」といっているが、「取り替え」ているものについて話し合ってみよう。 ③「幸福の種」とは、どのようなものだろう。 (3) 各自の「幸福の種」を短い言葉で表現し、ワークシートに書いてみよう。
	2 夜のくだもの屋	自らの生活が、人々の温かい心に支えられていることに気づき、だれに対しても思いやりの心をもって接しようとする態度を養う。 (2－(2) 温かい心（感謝・思いやり）)	(1) さりげなく親切にされた経験を交流する。 (2) 資料『夜のくだもの屋』を読んで話し合う。 ①少女は帰り道、どうして歌いながら歩いていたのだろう。 ②くだもの屋のあかりは、少女の目にどのように映ったのだろう。 ③父親はどんな思いで「りんごでも買っていか。」と言ったのだろう。 ④「少女は、ふたたび、声もなかった。」とあるが、それはなぜだろう。 ⑤少女が病院でする「みやげ話」を作って紹介し合ってみよう。 (3) さりげない親切や思いやりの気持ちで人に接した経験を振り返る。
	3 イチロー選手の当たり前	困難に屈しないで目標に向かって着実にやり抜く意欲を高める。 (1－(2) 強い意志)	(1) メジャーリーガーのイチロー選手について知っていることを出し合う。 (2) 資料『イチロー選手の当たり前』を読んで話し合う。 ①イチロー選手の「準備」はどんなものだろう。 ②「いつでも準備OK」といえる状態であるために、イチロー選手は、どんな気持ちを持ち続けているのだろう。 ③自分の自由にまかされた時、たいせつにしなければならぬことは、どんなことだろう。 ④各自、自分にとっての「当たり前」について考えてみよう。 (3) 教師の説話を聞く。

5 月	4 ニッポンに知ってほしい「美しき日本」	日本人としての自覚をもって、優れた伝統を継承し、新しい文化を創造していこうとする心情を培う。 (4-9) 日本人としての自覚)	(1) 外国の人は日本のどんなところに魅力を感じているのだろうか話し合ってみよう。 (2) 資料『ニッポンに知ってほしい「美しき日本」』を読んで話し合う。 ①ジニーさんは、日本のどんなところに魅力を感じたのだろうか。 ②日本のあいさつのよさはどこにあるのだろうか。 ③「ニッポン人には日本が足りない」とは、どのような意味があるのだろうか。 ④「足元をしっかりとしないと真のインターナショナルとは言えない」とは、どのようなことだろうか。 (3) 各自が、日本の文化や伝統で魅力があると思うところについて話し合ってみよう。
	5 木組みは人組み	自己の属する集団の意義を理解し、自己の特性や自己の能力を集団に生かそうとする意欲を養う。 (4-4) 集団生活の向上(役割・責任)	(1) 集団の一員として、集団の向上や発展に貢献できたと思う経験について話し合う。 (2) 資料『木組みは人組み』を読んで話し合う。 ①薬師寺の東塔が、今なお調和のとれた美しさと安定感を保っているのはどうしてだろう。 ②いろいろな集団の中で、今までどのような生き方をしてきたかについて話し合ってみよう。 ③「木のくせ組みは人組み」の意味を考え、集団の一員としての生き方について考えてみよう。 (3) まとまった集団について話し合う。 (4) 集団づくりについて考えをまとめてみよう。
	6 うろうろ舟	職業に対する正しい理解を深め、心から満足できる生きがいを求めようとする心情を育てる。 (3-3) 生きる喜び)	(1) 資料『うろうろ舟』を読んで、感想を出し合う。 (2) それぞれの場面での源三の気持ちを話し合う。 ①「お武家さん、人ちがいでさ。」と言ったときの源三の気持ちを考えてみよう。 ②家にもどってまで、妻に八つ当たりしている源三の気持ちを考えてみよう。 ③二人の武家をこらしめたとき、源三はどんなことを考え、何をつかんだのだろうか。 (3) 源三の姿をまぶしく感じた孫次郎の気持ちについて話し合う。 (4) 「生きる喜び」について話し合う。

6 月	7 あいさつ	<p>礼儀の意義を理解し，時と場に応じて適切な言動がとれるような生活習慣を身につける態度を養う。</p> <p style="text-align: center;">(2-1) 礼儀</p>	<p>(1) 日ごろ，あいさつが適切にできているか発表する。</p> <p>(2) 資料『あいさつ』を読んで話し合う。</p> <p>① 軽井沢の郵便局員の応対に，作者がとまどったのはどうしてだろうか。</p> <p>② 日本人は，エレベーターに乗っても，だまっただまで会釈もしないのはどうしてだろう。</p> <p>③ 作者は，エレベーターで見たアメリカの青年について，どのように感じているのだろう。</p> <p>④ 茶道の作法の精神について考えてみよう。</p> <p>(3) あいさつ(礼儀)の必要性について話し合う。</p>
	8 スダチの苗木	<p>家族(父母)への感謝と敬愛の念を深め，家族の一員としての自覚をもって生きようとする心情を養う。</p> <p style="text-align: center;">(4-6) 家族愛</p>	<p>(1) 「家族」についてのイメージを交流する。</p> <p>(2) 資料『スダチの苗木』を読んで話し合う。</p> <p>① 苗木を植える父の姿をだれにも言うまいと誓ったのはどうしてだろう。</p> <p>② 父の入院中の父母の生き方を知ったとき，「わたしの心は激しくふるえた。」とあるが，それはなぜだろう。</p> <p>③ 「わたし」にとっての「スダチの苗木」のように，父母の愛情の深さ，大きさに気づかせたものはないだろうか。</p> <p>(3) 教師の説話を聞く。</p>
	9 マザー＝テレサの心	<p>自己の幸福とともに，周囲の人々の幸福を願い，温かい心をもち，人に接していく態度を育てる。</p> <p style="text-align: center;">(2-2) 人間愛(感謝・思いやり)</p>	<p>(1) 病気や貧しさのために苦しんでいる人を見たり，聞いたりしたときの気持ちを話し合う。</p> <p>(2) 資料『マザー＝テレサの心』を読んで話し合う。</p> <p>① 山谷やあいりん地区を見たマザー＝テレサのいちばんおどろいたことは，なんだったのだろう。</p> <p>② 山谷やあいりん地区を見たマザー＝テレサの，最もうったえたかったことはなんだったのだろう。</p> <p>③ 山谷やあいりん地区の人に，ほかの人々が愛の手をさしのべようとしないのはどうしてだろう。</p> <p>(3) マザー＝テレサの実践がわたしたちに教えていることについてまとめ，今できること，しなければならぬことについて話し合ってみよう。</p> <p>(4) 平素の生活態度を発表し，「痛みある愛」の実践について話し合う。</p>

6月	<p>10 あなたの愛校心に握手</p>	<p>利己的な考えにとらわれず、互いに協力し合って、よりよい校風を樹立しようとする心情を育てる。 (4-(7) 愛校心)</p>	<p>(1) 学級や学校のために尽くした経験を話し合う。 (2) 資料『あなたの愛校心に握手』を読んで話し合う。 ① ジョージ先生の口ぐせになっている言葉には、どんな願いがこめられているだろうか。 ② 体育祭実行委員に選出された「ぼく」の気持ちを考えてみよう。 ③ 実行委員長になって「ぼく」はどのように変わっただろうか。 (3) 自分たちの学校のよい伝統や校風について話し合う。 (4) よい校風を受けつぎ発展させるためには、どんな心がまえが必要だろうか。</p>
7月	<p>11 山岳写真家の苦勞</p>	<p>より高い目標をみざし、希望と勇気を持って、着実にやり抜く強い意志を育てる。 (1-(2) 強い意志(希望, 勇気))</p>	<p>(1) 職業(仕事)について、自由に話し合う。 (2) 資料『山岳写真家の苦勞』を読んで話し合う。 ① 山岳写真家の仕事とその条件には、どんなことがあるだろうか。 ② 山岳写真家の苦心には、どんなことがあるだろうか。 ③ 山岳写真家として「道をきわめる」とは、どんなことだろうか。 ④ 山岳写真家にならないとしても、作者の生き方から何を学ぶことができるだろうか。 (3) 教師の体験談を聞く。</p>
	<p>12 震災後のある社説</p>	<p>自然に対する畏怖の念をもたせるとともに、生命の尊さを理解して自他のかけがえのない生命を尊重する態度を育てる。 (3-(1) 生命の尊重)</p>	<p>(1) 資料を読む前に、阪神・淡路大震災についてテレビなどで知り得たことを発表する。 (2) 資料『震災後のある社説』を読んで話し合う。 ① 震度7の地震とはどのような様子か、調べてみよう。 ② 父親が生きうめになったとわかったときの三木さん夫妻の気持ちを、話し合ってみよう。 ③ 二日間、三木さんはどのような思いで過ごしたのだろうか。 (3) 最後に、生命のたいせつさ、相手の気持ちを思うたいせつさを確認する。</p>
9月	<p>13 日々の体験を味わう</p>	<p>自己の日常生活を見つめ直し、深く考え、自ら向上していこうとする態度を養う。 (1-(5) 向上心)</p>	<p>(1) 体験活動をしているときに感じたことについて話し合う。 (2) 資料『日々の体験を味わう』を読んで話し合う。 ① 「百聞は一見にしかず」で始まる資料なので、その意味を考えながら読んでみよう。 ② 「百聞は一見にしかず」の「聞」と「見」には、どんな違いがあるのだろう。 ③ 体験と、「見」「聞」とはどのような違いがあるのだろう。 ④ 日々の体験を「味わう」とは、どのようなことを意味しているのだろう。 (3) 「日々の体験を味わう」ために必要なことはどんなことだろう。 (4) 日々の平穏な体験を、心でしっかり確かめて生活してみよう。</p>

9 月	14 男と女	話し合いを通して男女の違いを知り、よりよい協力・交際をするための判断力を養う。 (2-(4) 異性についての理解)	(1) 自分が今もっている「男」と「女」のイメージはどんなものだろう。 (2) 資料『男と女』を読んで話し合う。 ①子ども時代の「男らしさ」「女らしさ」のイメージはどのようにしてもつようになるのだろうか。 ②思春期の自分に関する三つの像について、自分のことを考えてみよう。 ③「男らしさ」「女らしさ」は、どのように考えていけばよいのだろうか。 (3) 学習したことについて、自分の感想をノートに書く。
	15 孔子の言葉	自主的に考えるとともに自分の言動を振り返り、責任をもって誠実に生きようとする態度を養う。 (1-(3) 自主・自律(誠実, 責任))	(1) はばかる、という言葉を知っているか。 (2) 資料『孔子の言葉』を読んで話し合う。 ①自分の判断に自信がもてないのはどんなときか、考えてみよう。 ②過失に気づきながら改めないのは、もっと悪いとはどういう意味だろう。 ③過ちやまちがいをごまかしたくなる気持ちについて話し合ってみよう。 ④過ちを改めるために本当にたいせつなことはなんだろう。整理してみよう。 (3) 自分の生活を振り返り、「過ちを改めるにはばかることのない生き方」をするために、自分自身で最も留意すべきことを各自考える。
	16 ヒロシマ、一人からの出発	平和と幸福の追求は人権尊重の基本であることを理解させ、世界平和に貢献していく態度を育てる。 (4-(10) 世界平和, 人類愛)	(1) 現在の世界の動きについて知っていることを話し合う。 (2) 資料『ヒロシマ、一人からの出発』を読んで話し合う。 ①原爆が投下されたときの作者や周りの人たちの様子はどんなだっただろう。 ②平和を守るいちばんの原点となるのはなんだろう。 ③作者がパールハーバーで体験したことは、どんなことだったのだろう。 ④作者は、平和な社会の建設のためには、どんなことから始めなければならないと考えているのだろう。 (3) 平和な社会の建設のために、人間としてどうあればよいのだろう。 (4) 資料を読んで強く心にきざまれたことを発表する。

10 月	17 明日へ出発	<p>心身の健康の増進を図り、節度と調和のある生活を心がけることのたいせつさを自覚させる。</p> <p>(1-1) 望ましい生活習慣(健康, 節度)</p>	<p>(1) これまでに身につけていた望ましい生活習慣でくずれてしまっているものがないか、各自考える。</p> <p>(2) 資料『明日へ出発』を読んで話し合う。</p> <p>①これまでのマラソン大会で完走できなかった原因は何か、考えてみよう。</p> <p>②早朝練習を始めたときの作者の考えや気持ちについて話し合ってみよう。</p> <p>③「こんなことをして何になる。」という気持ちはどこからくるのだろう。</p> <p>④練習を再開し、続けていく間に作者はどんなことを感じ取ったのだろう。</p> <p>⑤一日一日が、積み積みもってわたしの人生になる、とはどういうことだろう。</p> <p>(3) 各自が自分の日常生活を振り返り、節度と調和のとれた生活とは何かを考える。</p>
	18 法とわたしたちの権利・義務	<p>法の精神および個人の権利と義務について考え、他人の権利を侵さず、義務を遂行する態度を養う。</p> <p>(4-1) 法やきまりの遵守(権利・義務)</p>	<p>(1) 自分が義務を果たさなかったために、迷惑をかけた経験を話し合う。</p> <p>(2) 資料『法とわたしたちの権利・義務』を読んで話し合う。</p> <p>①イギリスの治安官が万引きをした男に対してくださった判決には、どのような意味があるのだろうか。</p> <p>②気の毒な婦人に対する貸し金の取り立て訴訟の依頼を断った、リンカーンの言葉の奥には、どのような考えがあるのだろうか。</p> <p>③法は、わたしたちに対してどのような意味をもっているのだろうか。また、個人の権利と義務の関係はどう考えたらよいのだろうか。</p> <p>④法律と人間、権利と義務の関係をまとめてみよう。</p> <p>(3) 教師の説話を聞く。</p>
	19 ゆり子ちゃんのかさ	<p>他人の立場に立って行動することのたいせつさを理解させ、寛容の心をもった謙虚な態度を育てる。</p> <p>(2-5) 謙虚, 寛容</p>	<p>(1) 広い心について考える。</p> <p>(2) 資料『ゆり子ちゃんのかさ』を読んで話し合う。</p> <p>①まだ病院の規則を知らない作者を利用して、病院にむりやりとまりこんだゆり子ちゃんのお母さんの行いについてどう思うか。</p> <p>②お母さんにだきつかれたとき、作者はどんな気持ちだったのだろう。</p> <p>③ゆり子ちゃんの死を悲しむお母さんをだきしめてあげられなかったと反省するのは、作者のどんな心からだろうか。</p> <p>(3) かさをたいせつに保管する作者の気持ちを考える。</p> <p>(4) 自分にもっていないものを他に学ぶことのたいせつさについて考える。</p>

10月	<p>20 マリア・ルース号事件</p>	<p>人権を尊重し、公正・公平な態度で勇気をもって正義を貫こうとする意欲を育てる。 (4-3) 正義, 公正・公平)</p>	<p>(1) マリア・ルース号事件の生じたころの時代背景について、簡単に教師より説明する。 (2) 資料『マリア・ルース号事件』を読んで話し合う。 ①いつ、どこで起こった、どんな事件なのか。 ②最初、日本政府が、船長に厳しい注意をするだけで、救いを求めた中国人船客を引きわたしたのはなぜか。 ③反対をおしきって裁判を行った、副島や大江たちの気持ちを考えてみよう。 ④マリア・ルース号の裁判は、明治の日本にとってどんな意味をもつと思うか。 (3) この資料を通じて、学んだところを話し合う。</p>
11月	<p>21 ばあば</p>	<p>生命は互いに支え合っていることに気づき、生かされていることに感謝し、今ある生命を大切に生きていこうとする心情を高める。 (3-1) 生命の尊重)</p>	<p>(1) 「天寿」という言葉の意味を考える。 ○「天寿」という言葉を知っていますか？ (2) 資料「ばあば」を読んで話し合う。 ①「ばあば」が毎日、廊下を往復してトレーニングをしていたのはどうしてでしょう。 ②ばあばの一番思っていることとは何でしょう。 ③ぼくたちは、「ばあば」から何をもらっていたのでしょうか。 (3) 共に生きることの意味について、みんなで考えてみましょう。 (4) 今日の学習を振り返る。 ○「天寿」という言葉の意味をもう一度考えてみましょう。</p>
	<p>22 試し合い</p>	<p>多くの人々との関わりを契機に成長していることに気づき、それらに感謝しようとする心情を育てる。 (2-6) 感謝)</p>	<p>(1) 試合などで、はじめに「お願いします。」、終わったら「ありがとうございました。」というのはなぜ？ (2) 資料を読んで、話し合う。 ①ムキになるのは、どうしてかっこ悪いと思ったのだろうか。 ②かっこいいとか悪いとか思わなかったのはなぜ。前のときと何が違ったの。 ③監督の言った「相手に感謝ができないものは勝てない」とはどういうこと？ ④「監督のおかげ」「相手のおかげ」というのは何？ ⑤「試し合い」とは、どういうことだと主人公は考えたのだろうか。 (3) 教師の説話。</p>

11月	23 離見の見	<p>国家を愛し、発展に尽くすとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に役立とうとする態度を養う。</p> <p>(4-9) 愛国心</p>	<p>(1) 自分の国を意識した経験について話し合う。</p> <p>(2) 資料『離見の見』を読んで話し合う。</p> <p>①せまい愛国心とは、どのような考えや態度をいうのだろう。</p> <p>②「離見」と「我見」とのちがいはどこにあるのだろう。</p> <p>③「離見の見」で国を愛するときたいせつなことはなんだろう。</p> <p>(3) 今日の感想を書く。</p>
	24 甲府勤番	<p>正義を重んじるとともに、協力し合って積極的に差別や偏見をなくしていこうとする態度を養う。</p> <p>(4-3) 正義, 公正・公平</p>	<p>(1) 資料を読み、感じたことを発表する。</p> <p>(2) 資料『甲府勤番』を読んで話し合う。</p> <p>①村を検分したとき、二人はどう思ったか。</p> <p>②小次郎が村人たちの願いを聞こうとしないのはなぜか。</p> <p>③小次郎の村人たちに対する考え方に問題があるとすれば、それはどんな考えか。</p> <p>④平八が「おれには、もう江戸はない。」と言っているが、それはどんな意味か。</p> <p>⑤小次郎がだまりこくって歩いている平八に近寄りたのを感じたのはなぜか。</p> <p>(3) だれもが幸せな社会にするためには、どうしたらよいか考えてみよう。</p>
12月	25 和泉市の青少年赤十字	<p>奉仕の精神をもって、すすんで公共の福祉と社会の発展に努める態度を養う。</p> <p>(4-5) 公共の福祉(勤労, 奉仕)</p>	<p>(1) ボランティアサービスについて考えてみよう。</p> <p>(2) 資料『和泉市の青少年赤十字』を読んで話し合う。</p> <p>①デュナンは、どういう思いで2つの提案をしたのだろうか。</p> <p>②赤十字は、どんな活動をしているのだろうか。</p> <p>③あなたが気づいたボランティアサービスをあげてみよう。</p> <p>④青少年赤十字の活動で、どんなことに興味をもったか。</p> <p>⑤外国の仲間に日本のどんなことを紹介したいか、考えてみよう。</p> <p>(3) これから日常生活を、どういうふうにご過ごしていけばいいかを考える。</p>

12月	26 二人の三年間	<p>友達として、互いに相手の理解と敬愛に努め、励まし合う友情関係を育てようとする態度を育てる。</p> <p>(2-(3) 友情)</p>	<p>(1) 友達のよさについて話し合う。</p> <p>(2) 資料『二人の三年間』を読んで話し合う。</p> <p>①資料から、味園君と作者の二人についてどんな感想をもったか。</p> <p>②学級委員長や野球部長の責任をまじめに果たそうとしない、味園君に対する「ぼく」のいかりをどう思うか。</p> <p>③音楽会のことで助けてもらったからといって、急に味園君に感謝する「ぼく」の気持ちをどう思うか。</p> <p>④病気をおして郡市大会の応援にかけつけた味園君に、「ぼく」はどんなことを感じたか。</p> <p>⑤味園君との三年間のつきあいの中で、「ぼく」はどんなことを学んできたのだろう。</p> <p>(3) 友情について、考えをノートにまとめる。</p>
	27 日本海の落日	<p>生まれ育ったもののみがもつ郷土愛のたいせつさを理解させ、郷土の発展のために尽くそうとする態度を養う。</p> <p>(4-(8) 郷土愛)</p>	<p>(1) まず、自分たちの校区で自慢できる点、よい点、誇りに思う点を話し合う。</p> <p>(2) 資料『日本海の落日』を読んで話し合う。</p> <p>①作者がいちばんいいと思う庄内平野の具体的な風景を資料から読み取る。</p> <p>②よその土地に対する作者の感想を読み取る。</p> <p>③作者が、庄内がいちばんいいと思いつつも、気はすかない気持ちを感じるのはなぜだろう。</p> <p>④自分たちの郷土をよりよくするにはどうしたらよいかを話し合ってみよう。</p> <p>(3) 自分たちの郷土でほこりに思う点について考えてみよう。</p>
1月	28 心をみがく	<p>勤労の尊さを理解するとともに、すすんで公共のために取り組もうとする態度を養う。</p> <p>(4-(5) 公共の福祉(勤労、奉仕))</p>	<p>(1) 自らすすんで行動したり、奉仕したりすることについて話し合う。</p> <p>(2) 資料『心をみがく』を読んで話し合う。</p> <p>①作者が、生徒会役員として、ロシア人墓地清掃活動を勝中生に広げていったのは、どんな考えや気持ちからだったのだろう。</p> <p>②清掃活動をし終えたあと、晴れ晴れとした気持ちで帰校できたのはどうしてだろう。</p> <p>③作者は、清掃活動を通してどんなことを学んだのだろう。</p> <p>(3) 勤労奉仕について話し合う。</p> <p>(4) 教師の体験談を聞く。</p>

1 月	29 異文化の根っこ	世界各地の国々の伝統的な文化や人々の生活を深く理解し、尊重しようとする態度を養う。 (4-(10) 国際理解)	(1) 異文化の一例に触れ、それぞれの地域での文化の違いを考える。 (2) 資料『異文化の根っこ』を読んで話し合う。 ① 作者が、外国の文化や生活習慣で理解しにくかったものを整理してみよう。 ② 日本社会の文化や生活で、外国人に理解しにくいものがあるだろうか、考えてみよう。 ③ マサイの人々との生活で、作者が「そこまで考えてハッとした。」というが、どのようなことに気づいたのだろうか。 ④ 「なぜ」を考え続けてさわれるもの、とはどんなものだろうか。 (3) 今日の授業を振り返る。
	30 象山の画	いろいろなものの方や考え方のあることを理解し、寛容の心で謙虚に他に学ぼうとする心情を育てる。 (2-(5) 謙虚、寛容)	(1) 同じもの(こと)に対する意見が異なっていたことがないか、話し合う。 (2) 資料『象山の画』を読んで話し合う。 ① 作者は、投書が「傲慢だ」というのはどうしてだろう。 ② 各自が北斎の絵(挿絵)を見たときの感じと作者の資料についての説明とを結びつけて考えてみよう。 (3) 「広い心」とは、どのようなことを言うのだろうか。 (4) 資料で最後に「大事なものは、心の風景」といっている。どのような意味かゆっくり自分で考えてほしい。
2 月	31 足袋の季節	人間には弱さや醜さがあることに気づかせ、人間として生きる喜びを見出そうとする意欲を高める。 (3-(3) 生きる喜び)	(1) 人間のもつよさ、すばらしさについて話し合う。 (2) 資料『足袋の季節』を読んで話し合う。 ① 「五十銭だったね。」と聞かれたとき、作者はどんなことを思っただろうか。 ② おばあさんからにげるようにして去ったあとの、作者の気持ちはどんなだったか。 ③ おばあさんの死を知ったときの作者の気持ちはどんなだっただろうか。 ④ おばあさんがわたしにくれた心とは、どんな心だろうか。 (3) 作者のように弱い、醜い心はあっても、それを克服して強く生きた思い出はないか。

2 月	32 不器用なさわやかさ	<p>社会連帯の精神をもって、だれもが安心して生活できる社会をつくらうとする意欲を育てる。</p> <p>(4-2) 公徳心, 社会連帯)</p>	<p>(1) 他の人の言動を誤解した経験について話し合う。</p> <p>(2) 資料『不器用なさわやかさ』を読んで話し合う。</p> <p>①「色黒で、シャツを羽織り、…仁王立ち」の渡辺さんの様子を見て、みんなはどう思うか。</p> <p>②「ぼく」が渡辺さんを誤解していたのはどうしてだろう。話し合ってみよう。</p> <p>③渡辺さんのあいさつにはどんな思いが込められているのだろう。</p> <p>④周りの人にとって「さわやかな」行動とはどんなものか。身近に例があればあげてみよう。</p> <p>(3) 自分がすぐにできる「さわやかな行動」がないか、自分の心の中で考えてほしい。</p>
	33 弟の死	<p>幼い弟の死を見つめた作者の心情にふれ、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。</p> <p>(3-1) 生命の尊重)</p>	<p>(1) 生命のたいせつさを感じた経験を話し合う。</p> <p>(2) 資料『弟の死』を読んで話し合う。</p> <p>①弟の死を見守っている作者の気持ちはどんなだっただろうか。</p> <p>②弟が死んだときの母親の気持ちを考えてみよう。</p> <p>③作者は弟の死から、どんなことを思っただろうか。</p> <p>④若者の生命軽視の風潮の原因は何か。</p> <p>(3) かけがえのない生命の尊さに気づくのは、どんなときだと思うか。</p>
3 月	34 風景開眼	<p>人間にとって欠かせない自然の美しさに感動し、自然の神秘を感じ取る豊かな心を養う。</p> <p>(3-2) 自然愛, 畏敬の念)</p>	<p>(1) 自然に対して感動した経験を話し合う。</p> <p>(2) 資料『風景開眼』を読んで話し合う。</p> <p>①作者は、自然をどのように見つめ、どのようにとらえているか話し合ってみよう。</p> <p>②熊本城からのながめに、作者が涙が落ちそうになるほど感動したのはなぜだろう。</p> <p>③作者は、人生の旅の中で、自然をどのように考えているのだろうか。</p> <p>(3) 自然の前で、自分ではどうしようもないことについて話し合う。</p> <p>(4) 作者から学んだことをまとめる。</p>
	35 若いみなさんへ	<p>より高い目標をもち、最善を尽くし、悔いのない満足できる生き方をしようとする態度を育てる。</p> <p>(1-4) 理想の実現)</p>	<p>(1) 幸福な生活とはどんなことか話し合う。</p> <p>(2) 資料『若いみなさんへ』を読んで話し合う。</p> <p>①世の中の変化と自分たちの生き方について話し合ってみよう。</p> <p>②現実的な生き方とは、どんなことか考えてみよう。</p> <p>③人生におけるあなたの生きがいのについて、話し合ってみよう。</p> <p>(3) この資料から、今後、みなさんが学ぶ点があるとすれば、どういうところか考えてみよう。</p>